



光風緑 Hannan

2017年 7月

〒599-8263 大阪府堺市中区八田南之町277番地 ☎(072)278-0381 FAX(072)277-2261 URL <http://www.hannan.or.jp>

理念 愛のところで医療に奉仕を 和のところで総力一致を 励むところで創意工夫を

こころの目イベントを開催!

おとしり
ウイングス
7/5 WED

7月5日(水)西区の「おとしりウイングス」にて「こころの目」のイベントを開催しました。当院から医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、精神保健福祉士等が参加し、ウイングスを利用される方へ医療相談やうちわなどのグッズを配布し、認知症や精神科医療への啓発活動を行いました。

こころの日は日本精神科看護協会が、精神保健法の制定を記念し、7月1日に定めたもので、精神障害者や、精神科医療についての理解を深めるため、各支部で様々なイベントを行っています。

これまでは泉ヶ丘駅前で場所をお借りし実施してきましたが、今年は西区のおとしりウイングス1F中央の舞台横の場所をお借りできたので、長机といすを並べ、通りかかる方へ声掛けなどさせていただきました。初めての場所だったため「病院はどこにあるの?」「名前は聞いたことあるかな～」など興味はもっていただけましたが、続けて開催し、より広く知っていただくことが大事だと思いました。10時から15時半までで立ち話も含め、約50名の方とかわることができました。

当日は午前中の豪雨のため、客足が悪かったとのことでしたが足を止めてくださる方も多く、ゆっくりとかわることができた1日でした。



- ### 基本方針
- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
 - 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
 - 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
 - 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
 - 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

居宅介護支援事業所

ケアサポートセンター 杏

7月オープン

7月1日「ケアサポートセンター杏」という施設名で、居宅介護支援事業所が再稼働しました。経験豊富な主任介護支援専門員(ケアマネージャー)がこれまでの経験とネットワークを活かし、幅広く、高齢者や、障がいをお持ちの方のサポートをしていきます。

介護支援専門員は介護保険制度に基づき、要支援や要介護の方やご家族から相談を受け、アセスメント(課題分析)し自立支援を念頭にケアプラン作成を行い、主治医や関係機関と連携を図りながら在宅サービス調整などを行います。利用者の自立支援を念頭に、住み慣れた地域で望む暮らしの実現に向けて居宅サービス計画などを立てます。

開所時間 月～金 9:00～17:00

休日 土・日・祝日・年末年始(12/31～1/3)

利用料 基本的には、ケアマネージャーの利用者自己負担分の請求はありません。

※詳細は、お問合せ下さい。(☎072-278-0488)

外来診療表

外来診療時間/9:00～12:00(受付は11:30まで)平成29年6月現在

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	土井	濱田	横田	黒田	横田
2 診	花房	秋田	松島	戎	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	田中	亀田	岩井	加納	広田	岩朝
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	松村
6 診	柴田	長谷川	正路	吉川	小林	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋本	久馬	小深田
8 診	熊取谷	大矢	西村	河野		熊取谷
9 診	上坂	柏木	後藤	大浦	土井	安藤
診(心1)	清水		中井	山下	作田	
診(心2)			作田			

*医師の急な都合により、変更・休診となる場合がございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 111床(D2,E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク 堺市中区深井清水町3544-3 アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

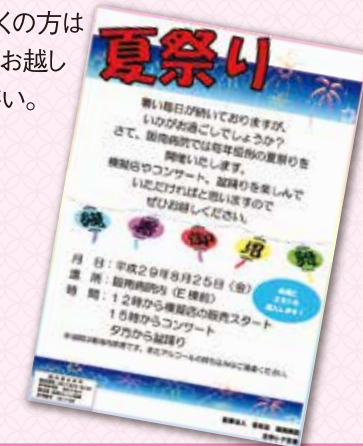
編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

はんなん夏祭り

日程 8月25日(金)

夏の締めくくりの大イベント「夏祭り」。お昼からE棟前に模擬店が並び、患者さんも愛育社の子どもたち、そして地域の方、そして一職員も、暑い暑い一日を楽しみます。

夕方からはやぐらの周りで盆踊り。日の沈みかける夕間にやぐらの提灯が夏祭りを盛り上げます。花火も打ちあがります。お近くの方は是非お越しください。



第15回 世界音楽療法大会に参加して

7月4日(火)~8日(土)



デイケア看護師
伊藤 みどり

デイケアでは、様々なプログラムを行なっていますが、時には個人に応じた活動の提供もしています。

デイケアメンバーには、ずっと、イヤホンをして音楽を聴いている方や、朝のコーラスに毎回、参加していたり、カラオケを楽しみにしていたりなど、音楽を上手に日常に取り入れることで、心身の安定に繋げている姿をよく見かけます。「音楽」の場が、模擬社会の役割を果たし、他者と共有する場を得て、活動することが自信につながり、社会復帰への第一歩となる場合もあり、「ノンバーバル」であるからこそ、有効なアプローチであると感じています。

私は、大会初日に「Therapeutic use of the Japanese traditional piano performance (日本に伝わるピアノ演奏法の療法的活用)~aim for standardization of music therapy(精神科音楽療法の標準化を目指して)~」というポスター発表を行ないました。「ねこふんじゃった」というピアノ曲の演奏法が、日本でどの程度、習得されているのか、また、その背景を調査し、「日本で、ねこふんじゃったを習得している方が多い。」という仮説を立証した上で、音楽療法の導入に生かす技法を提案させて頂きました。「当たり前だからこそ、気付かなかった。」「ユニークな提案」などの反応がありました。今後は、実践の場面をより広げ、「安心して取り組める音楽活動」として、リハビリ、リカバリーに役立てていきたいと思っています。



ふれあい 看護体験

日本看護協会の全国行事として一般社会人及び高校生を対象として行われる「ふれあい看護体験」。看護に対する理解を深めるとともに、進路の参考にしてもらうことを目的に実施されており、当院では6月8日(木)にF2(認知症治療)病棟で実施しました。

高校生2名・社会人1名の計3名が来院し、初めは硬かった表情がユニフォームに着替えると「初めて着たので嬉しいです。」と少し笑顔も見られるようになりました。病棟では、血圧測定・脈拍測定を体験者同士で実施し、車椅子移乗・移送、足浴などの患者体験を行いました。また、人体模型を使用してのBLS体験では、3人共真剣な表情で一糸懸念取り組んでいました。

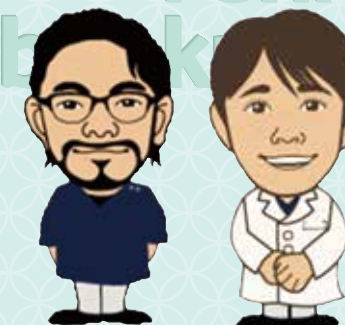
日常の場所ではない病院で、1日とはいえ緊張感も高かったと思います。最後の懇親会では、ホッとしたのか笑顔で「楽しかった」「看護師になりたい」「病院も職員も明るくてイメージが変わった」といった感想を述べられました。当院での体験が、将来につながるいいきっかけになればと思います。(看護部 桑野 香里)



当院は敷地内完全禁煙です

医療法人エルア会 静波こころの診療所

医療機関紹介



日常生活の不安、抱えこまないでください。大阪北区の【静波こころの診療所】が心理検査・カウンセリングを行います。精神科・児童精神科・心療内科にて、うつ病、不眠症などの心の症状から、ストレス性胃炎、認知症・ものわすれサポートまで広くご相談を受付けています。

また、二人の常勤医師、そして臨床心理士6名(非常勤含む)が在籍し、幅広い疾患に対応しています。比較的若い方が多く、40代までが75%、19歳までの方も35%おられます。気兼ねせず、ご予約いただければと思います。

- 住所 〒530-0034 大阪府大阪市北区錦町3-7 グランフォースビル3階
- 電話 06-6585-0868
- HP <http://shizunami-kokoro-clinic.com/>
- 最寄駅 JR環状線「天満駅」前 地下鉄堺筋線「扇町駅」徒歩3分
- 診療科 心療内科・精神科・児童精神科・認知症(ものわすれ)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 10:00~13:00	○	○	○	○	○	◎	—	—
午後 15:30~19:30	—	○	○	○	○	—	—	—

※土曜診療は9:30~13:30まで

Dr.情報 理事長・副院長 植月 俊介

☆経歴:近畿大学医学部卒業、宗像水光会総合病院初期研修、杏和会阪南病院 認知症疾患センター担当医、児童精神科担当医
平成26年3月 静波こころの診療所 開院
☆資格:精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本アロマテラピー学会認定医

Dr.情報 院長 呉家 学

☆経歴:岡山大学医学部卒業、岡山大学精神科、スクールカウンセラー、児童相談所嘱託医、杏和会阪南病院 精神科、児童精神科、メンタルヘルス、リワーク担当
平成26年3月 静波こころの診療所 開院
☆資格:精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医

公開講座「働く準備ってな~に?」を開催しました

6月25日(日)、堺市立健康福祉プラザにて、公開講座「働く準備ってな~に?」を開催しました。あいにくの雨天ではありましたが、当事者、ご家族、支援者、一般市民の方々など、80名のご参加がありました。



第一部は、相談員の篠原より「どうしてうまくいかないの?~働く上でつまづく理由~」と題し、発達障害の方が安定就労継続する上での難しさの背景と、改善工夫の可能性について、脳科学の観点を交えてお話させて戴き、続いて、相談員の宮井より「こうすればうまくいくかも!~アプリコット堺の支援~」と題し、アプリコット堺における、就労準備性を高め、就労へとつなげていく支援についてお話させて戴きました。発達障害を抱えながら、安定就労を目指すことは、非常な困難を伴いますが、ご自身の障害や特性を理解することによって、周囲との調和を図り、社会とのつながりを回復していけるようになります。これには長い年月を有することが多いですが、障害理解の促進、生活改善への具体的なアドバイス、就労に向けてのさまざまな情報提供などを通じて、就労支援を行っている様子をご紹介させて戴きました。

第二部は、発達障害を抱えながら就労されている当事者の方3名に「いろいろあるけど頑張ってます」と題し、アプリコット堺で支援を受ける以前から現在までの歩みについてお話戴きました。現在、障害を開示されている方、開示されていない方、職場理解が難しく苦勞されている方と、状況は異なりますが、3名の方の真摯な語りにはこれまでの経験が色濃く反映されており、それが生の声として会場の参加者に届けられ、当事者、ご家族、支援者それぞれの立場の方々にとって大変参考になったと思います。

アンケートでは、「発達障害についてより深い理解ができた」「アプリコット堺の支援が具体的にわかった」「就労への準備に段階があることがわかった」「3名の方がアプリコット堺での相談にきたプロセスなどがよくわかりました。ご本人の工夫や前向きな考えを聞くことができ、良かったです」「3人の方々が苦勞しながら障害と向き合い、頑張って仕事をされていることがよくわかりました」「発達障害は十人十色だと実感しているので、複数の方のお話を聞けたことが良かったです」といった声が寄せられました。

今後もこのような発達障害理解の促進のための啓発活動や、ネットワークづくりを通じて、発達障害者が堺市でいきいきと安心して生活していくことができる支援の拡充を図っていきたく考えています。(アプリコット堺)

災害時支援中心病院



災害時支援中心病院とは、「平時の支援体制維持と対応訓練などをおこなって有事に備え、災害発生時には日精協災害対策本部と密接に連携して、災害地域の会員病院の情報収集および被災支援や被災物資の供給などを中心的に支援するもの」と定められ、各支部での設置が順次行われています。大阪府では、さわかみ病院と阪南病院の2病院が選出されました。



その講習会の伝達研修が開催され、院内から90名を超える参加がありました。当院の現在の課題のひとつであり、職員の関心も高い「災害対策」にいかにかかわるかをしっかり考えていかなければなりません。伝達研修は災害時支援中心病院としての条件やその役割、整備しなければならないこと、そしてDMATとの関係性など説明され、盛りだくさんの内容でした。災害時支援中心病院の条件として、「災害、原発近隣など被害予想地区でない」「病院建物が耐震基準を満たす」「DPATを1チーム擁する」などがあげられます。

支援内容は「近隣の災害発生時に速やかに会員病院の被災状況やインフラ情報を入手し本部に提供」「支援のニーズをとりまとめ、本部および被災していない災害時支援中心病院に情報提供し支援を受ける」「救援物資の一時集積場所としての役割と配送手配を行い近隣病院と協力して物資供給を行う」「DPATの調整本部と情報講習を緊密にし連携、必要に応じ活動拠点としての機能を果たす」「平時より災害時の支援活動の訓練を行い体制の整備状況を点検し災害に備える」ことが求められ、そのために「災害対応担当者(24時間連絡可能)」2名選出、「BCPの策定」などを進めていかなければなりません。災害時の医療保護患者のトリアージや保護室からの避難など、精神科独特の難しさもあり、災害時に精神科の状況をよく理解しているDPATがいち早く動くことには意義があります。

当院で指定の養成研修を修了したローカルDPATチームを発足させ、体制整備に取り組んでおります。
(災害対策会議)

衛星電話説明会

7/14(金) 7/20(木) 7/26(水)



7月29日に実施された大阪府主催の「大規模地震時医療活動訓練」を前に、衛星電話説明会を3日間実施しました。まずは、衛星電話の保管場所や準備、立上げ方法など基本的なところから説明がなされました。実際、衛星電話があることは知っていても、災害時に探すようなことでは困ります。

また、インターネットへの接続方法など合わせて解説がなされました。実際に衛星電話をかけると声が遅れて聞こえるなど実感してもらうことでわかることが多くありました。

1回目は当院DPATチームメンバーを中心に約30名が集まりました。衛星電話は障害物や天候によっても接続できないこともあり、場所を動かすなどしながら参加者全員が衛星電話に触れながら使い方を理解しました。

第34回 児童精神科領域研究会

日時 8月31日(木) 14:00~16:30

場所 阪南病院内 多目的ホール (E棟地下1F)

演題 「インターネットの普及と依存
精神疾患との関連について」

長谷川雅文 精神科医師

演題 「不登校について」

横田伸吾 副院長・精神保健指定医・日本児童青年精神医学会認定医

対象 教育・行政・医療機・児相等、こどもの医療や教育で執務される方
アクセス JR 阪和線津久野駅・泉北高速鉄道深井駅より送迎マイクロバス有

光トポグラフィー検査

リーフレット完成



新しいリーフレットができました。平成27年12月より稼働を始めた光トポグラフィー検査についてのリーフレットです。7月からMRIが1.5テスラになり若干費用の変更がありますが、是非、お問合せいただければ幸いです。

アンガーマネジメントセミナー

5月30日(火)、S&C.Labo代表田中和義先生にご講義いただきました。田中先生は営業やコミュニケーションの企業研修講師、コンサルタントとして年間100回以上の講演をされています。今回は「怒りの感情を上手にコントロールする技術を学ぼう!」をテーマにご講演いただきました。「怒り」は普通に私



たちが持っているものです。ですが、「言った」「言わなかった」ことで後悔が残ることがあります。怒りの感情で後悔しないことがアンガーマネジメントの目的と言われます。日本ではまだ新しいという印象がありますが、米国ではDVなど「怒りに問題のある人」のメンタルヘルスプログラムから発展したといわれ、2001年9月の世界同時多発テロ以降、社会不安の増大を受けて一気に一般に普及しました。有名人(ナオミ・キャンベル、ショーン・ペン、ジャスティン・ビーバーなど)が事件を起こした後に受講を言い渡されたことも記憶に新しいところです。

さて、怒りの感情は「人間にとって自然な感情のひとつ」でなくすることは不可能です。その怒りという感情を使って伝えることもあり、怒ることによって伝わりにくくなることもあります。研修では自己診断として、怒りを持つときの「強度」「持続性」「頻度」、そしてその時の怒りの先は「他人」「自分」「モノ」なのか、10点満点で点数をつけて自身の特徴をみました。客観的に自分の怒りや人の自己分析をみるのも振り返りには効果的だと感じました。

怒りのもとになる「不安、ストレス、痛み、悲しさ、苦痛、寂しさなど」は日常生活や仕事で少しずつ溜まっていきます。うまく抜いていくことが大切です。また、怒りが爆発してもそれは6秒くらいであり、この6秒をやり過ぎて何とか怒りをコントロールすることが大切とのことでした。

参加者へ質問しながらセミナーは進んだこともあり、2時間が短いと思える研修でした。実際は2日間で行うセミナーのエッセンスだけ切り取った内容でしたが、参加者から「外部の研修を探していたので、院内で受講できてよかった」という感想もありました。